

令和8年度の主な施策について

健康分科会

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防

事業の内容

【概要】

生活習慣病(がん・循環器疾患・糖尿病・歯周病等)の発症予防や早期発見のために各種健康診査を実施するとともに、病気の進行(重症化)を防ぐために医療と連携した健康管理支援を行う。

生活習慣病予防のための健診

(若年者健診・加賀市国保特定健診・後期高齢者健診・その他健診)

① 健診実施体制の広域化(南加賀3市合同・医師会の協力)

・医師会の全面協力により、3市内の指定医療機関であればどこでも受診可能な体制となる。

② 「みなし健診」依頼リスト配布の早期実施(9月実施)

・医療機関治療中者等に対し、通院が健診代わりになり、毎年の健診データ変化を把握でき、専門職による健康サポートが受けられる。

③ 特定健診開始年齢40歳受診者への受診継続支援

受診者全員に、健診結果と経年管理用ファイルを送付後、専門職が電話等で健診結果の見方や健診の意義を説明し、健康への関心を高められるよう働きかけ、継続受診の定着を支援する。

【参考(加賀市国保特定健診受診率)】 目標：45.0%

令和5年度	令和6年度	令和7年度
37.8%	41.7%	40.4%

※R8.4未現在

がん検診の実施

① がん検診未受診者対策の強化

- ・65歳(節目・無料対象者)へのハガキによる再勧奨
- ・NHK×全国自治体×<希望の虹プロジェクト>の協働による「がん撲滅キャンペーン」の実施
- 大腸がん検診未受診者への検診勧奨リーフレットの発送

② 職域等がん検診受診状況調査

・国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、地域全体のがん対策をより一層推進するため、職場でがん検診を受けられた方の状況把握を目的とした調査を実施

事業の内容

歯周病検診の実施

① 問診項目の拡充

・国のマニュアル改定に基づき、全身疾患との関連を重視した生活習慣の問診を導入。

② 検診意義の啓発

・「口腔のチェック」から「全身の健康づくり」へ、検診の目的を周知。全身をチェックできる特定健診との同時開催(集団会場)を継続。

特定保健指導の充実

① 健診会場における診察医師からの特定保健指導の勧奨

・健診会場の診察医師から、受診者が自身の健康状態に最も関心が高まる「健診当日(診察時)」のタイミングを捉えて働きかけ、特定保健指導への参加意欲や生活習慣改善へのモチベーション向上へとつなげる。

【参考(特定保健指導委託機関)】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
委託機関	6機関	5機関	6機関
集団会場	29回	30回	30回

糖尿病性腎症等重症化予防

① 糖尿病治療中断者への再受診勧奨と継続支援

・治療を中断している対象者に対し、市内の医療機関に所属する「糖尿病療養指導士」等と連携した健康管理支援の実施。

② 市内医療機関との情報共有

・地域の医療ニーズや課題を共有するため、市内医療機関との情報を共有する。

③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の拡大

・生活圏域事業実施数5→6圏域に拡大(7圏域中)

2 KAGA健食健歩プロジェクト

事業の内容

【概要】

民間企業や市民団体等と協働して市民の「食」と「運動」を通じたプロジェクトを展開することで、生活習慣病予防をはじめ、市民の生涯を通じた健康づくりを推進する。

【主な事業】

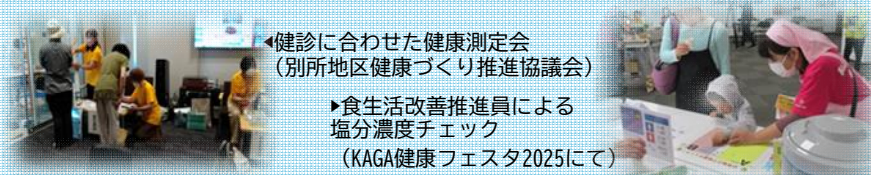
健康づくり推進員活動(加賀市健康づくり推進協議会)

市からの委嘱を受け、健康づくりに関する啓発普及を行う。
(21地区)

拡 連携協定企業と協働による健康づくりイベントの開催

食生活改善推進員活動(加賀市食生活改善推進協議会)

「食」を通じたボランティア活動(5ブロック)を実践・展開し、市民の食生活の改善を推進
 ・児童センター、学校、健康づくり推進員、高齢者の「通いの場」などと連携した活動
 ・食育・予防・伝統料理・防災食等の普及



◀健診に合わせた健康測定会
(別所地区健康づくり推進協議会)

▶食生活改善推進員による
塩分濃度チェック
(KAGA健康フェスタ2025にて)

KAGA健康フェスタの開催(連携協定企業、市民団体等)

多様な協力団体による「食」と「運動」をテーマにした催しを開催することで、市民の生活習慣改善のきっかけづくりや、健康づくり活動に取り組む団体等の増加につなげる。

【参考(協力団体数)】

令和5年度	令和6年度	令和7年度
15団体	16団体	15団体

事業の内容

KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリ(グッピー)

拡 食や運動に関する健康づくり活動に対してポイントを付与、インセンティブとして抽選で景品を贈呈し、健康への意識付け、生活習慣改善に向けて市民の健康管理を推進
 ・健康に関する事業へのポイント付与対象の拡大(地域医療推進講演会など)



【参考(アプリ登録者数)】目標:4,500人

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,056人	2,861人	3,974人

若者の健康づくり(プレコンセプションケア)の推進

- 拡** ① 健診案内通知からの若者の健康づくり情報の周知
 ・市内19歳以上全対象者の健診案内通知に、特設サイト等へ直接アクセスできるQRコードを掲載
 ② AMH検査※の実施 ※卵巣内の卵子の数の目安(卵巣予備能)を知るため、抗ミュラー管ホルモン(AMH)の値を調べる血液検査
新 ③ 地域・職域との情報交換会の実施

その他

◆ フレイル予防の推進

・「後期健診の案内通知」と「暮らし確認シート(介護予防基本チェックリスト)」の同封を通じて、高齢者の早期受診およびフレイル予防の定着を促進する。

新 ◆ 健康増進普及月間(9月)に合わせ、KAGA健幸ポイントヘルスケアアプリを活用した集中啓発活動の実施

◆ 定例ノルディックウォーク会(毎月第3日曜日)

◆ ラジオ体操を中心とした運動教室(毎月第3月曜日)

拡 ◆ こころの健康づくり事業
 ・ゲートキーパーとこころのサポート事業の協働による啓発活動 2